

＊特別支援アドバイザーを活用しませんか＊

「困っている子ども達に、どのように対応したらよいだろう」

「若い先生方の指導力を上げたい」

・・・こんなときにぜひご活用ください！



～本事務所に3名のベテラン特別支援アドバイザーが配置されています～

趣旨

○幼稚園・幼保連携型認定こども園、小・中学校、高等学校等の要請に応じて各学校等を訪問し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援等について、助言・援助を行います。

特別支援アドバイザーが行う助言・援助（一例）

- 実態把握や学習上、生活上の指導・支援の在り方に関して
- 個別の指導計画や個別の教育支援計画（支援ファイル等）の作成・活用に関して
- 特別支援教育コーディネーターの業務に関して
- 特別支援教育推進のための校内支援体制作りに関して
- 特別支援教育に関する研修会開催に関して
- 保護者や関係機関等との連絡調整に関して



派遣の日数

- ・1回の派遣につき1日～6日（週20時間まで）、最長6日間の派遣ができます。
- ・学校のニーズに応じて、期間をおいた継続派遣も可能です。

継続した派遣により指導経過が共有でき、効果が高まるケースがあります。

- ・各学校等での研修会講師（長期休業中を含む）を行うこともできます。その場合、時間単位での派遣も可能です。

～こんなとき、特別支援アドバイザーのご活用を！！～

教室で困っている子は、いませんか？

学習面

- 書くことが苦手
 - ・文字を正しく写せない。時間がかかる。
 - ・書き誤りが多い。書くことが嫌い。
 - 読むことが苦手
 - ・勝手読みが多い。文章の内容が読み取れない。
 - ・読み飛ばしや繰り返し読みが多い。
 - 聞くことが苦手
 - ・聞き間違いや勘違いが多い。
 - ・聞いたことをすぐ忘れてしまう。
- など

生活面

- 遅刻など、時間を守ることが難しい。
 - 頭髪、服装等を整えることが難しい。
 - 片付けが苦手で、整理整頓ができない。
 - 失くし物や忘れ物が多い。
- など

行動面

- 興味のない学習の時は、おしゃべりをしたり、友達の学習の邪魔になったりする。
 - 大勢が集まる場所で不安から奇声を発してしまう。
 - 悪気なく相手を傷つける言葉を言ってしまう。
 - 質問が終わらないうちに話し出し、止まらない。
 - そわそわと落ち着きがなく、離席が多い。
 - 注意・集中の持続時間が短い。
 - 冗談やユーモアが分からず、字義通りに受け取りトラブルとなる。
 - 急な予定の変更に不安定になってしまう。
 - 感情のコントロールが苦手で、かんしゃくやパニックを起こす。
- など

困っている教員にこんな支援をします

担任・学年の教員・管理職
特別支援教育コーディネーター



放課後にケース会議等の実施

- ① 観察の結果を伝える。
- ② 問題行動の背景にある原因について専門的立場から、障害特性をふまえて助言・援助する。
- ③ 担任の指導の良い面を伝える。
- ④ 自校で取り組めそうな手だてを一緒に考える。
- ⑤ 「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」作成・活用について助言・援助する。
- ⑥ 特別支援教育コーディネーターに、学級担任支援について助言する。

困っている学校（全職員）にこんな支援をします

校内体制や研修会等への助言・援助

- ① 学級開きに際して、特別な支援を必要とする児童生徒への具体的な配慮事項を助言する。
- ② 校内研修会で、全職員対象に、障害特性に応じた指導支援の在り方等について講義する。
- ③ 校内支援委員会の進め方や有効活用、外部関係機関との連携の取り方等について助言する。
- ④ 次年度への引き継ぎにあたって具体的なアドバイスをする。

管理職への報告

管理職に対し、担任への助言内容や今後の方向性について報告する。



派遣を実施した学校から、こんな声が届いています！

特別支援学級等の経験が浅い先生への派遣では・・・

支援学級での学習の進め方や教材の選び方等資料を基に分かりやすいアドバイスをいただいた。授業について、すぐに実践できる、改善できる点をご指導いただいた。教室内の環境について、動きやすい動線と安全性を考え、ものの配置を明確にすること等、具体的に教えていただいた。子供たちの実態からどのように学習計画を立てればよいのか、また、これからの指導を工夫するためにはどうすればよいのか、自立活動を例にわかりやすく教えていただいた。

継続派遣では・・・

前回と比べて、それぞれの学級、子供の変容と今後さらに教師がどのように関わると良いのかを具体的にご指導いただけました。担任だけでなく、学年、専科教員等の多くがアドバイスをいただくことができたこともよかった。次年度も、継続してご指導いただけるとより効果的だと思います。各学期に1回ずつ計3回の派遣でした。継続して指導・助言いただけるので、職員の指導力向上に大変役立っています。



その他にも・・・

子供の見立てや指導方法など経験に裏付けられたお話は、校内研修として全職員に講話していただきたい内容であった。管理職への助言では、進級や進路決定を見据えた支援や指導の在り方と校内支援体制をより一層充実させていくための視点でお話をいただいた。

「アドバイザーを呼ぼう」と考えたら、次の手順で申請を！

市町立幼稚園（^{認定}こども園）・小・中学校

・電話連絡 ・要請書（希望カレンダー含む）の提出

県立高等学校

・電話連絡 ・申請書 の提出

市町教育委員会

・申請書 ・要請書等の写し の提出

南房総教育事務所指導室 特別支援教育班

指導室：0438-25-1313 分室：0470-22-3876

・主訴 ・日にちの決定 ・関係書類 等について 担当指導主事が確認いたします。